



糖尿病外来始めました!

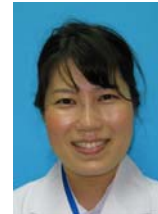
糖尿病は、高血糖により、さまざまな合併症を引き起こす病気です。患者数は日本では700万人程度とされ、さらに増加の傾向にあります。

一方で、病気の原因については明らかにされつつあり、それによって、様々な新しい薬が、活発に開発されている分野でもあります。

当外来でも、血液、尿検査、合併症の検査によって、患者さま それぞれに合った治療法を選択していきます。皆様にわかりやすく病状をご説明することも、長く糖尿病と付き合うのに重要と考えています。予備軍といわれた事のある方、糖尿病と長年向き合っておられる方いずれもお気軽にお立ち寄り下さい。



こんにちは。糖尿病外来を担当させていただきます、松崎慈子です。



担当医
松崎 慈子

木曜午後診
(1:00~4:00)

叙勲受章

今年度、春の叙勲におきまして、『瑞宝双光章』を副院長兼看護部長 春江 ノリ子が受章致しました。



まちの保健室

下記の日程で『まちの保健室』を開催します。皆様ぜひご参加ください。(要予約)

- * 日 時 : 11月19日(土)
14:00~15:00
- * 場 所 : 宝塚第一病院 外来
- * 内 容 : 骨密度測定・血管年齢測定
体脂肪測定・健康相談
三二健康講座 など

* 参加費 : 無 料

お申込みは10月中旬より受付ます。

下記までお電話ください。

申込・問合せ TEL 0797-84-8811



内視鏡のご案内

これまで、透視室で火曜日、金曜日の午後下部内視鏡検査をしていました。

6月2日木曜日より午後枠3件の内視鏡検査が内視鏡室で追加開始になりました。

そして、上部、下部の内視鏡を希望があれば同時にできます。

これまで、どちらかの検査を別々の日にしていたので、患者さんにとっては検査がいつべんに出来、すごく便利になりました。

大腸カメラの件数は、5月19件、6月26件、7月28件と順調に増加してきています。



これまでロングサイズの内視鏡しかありませんでしたが、7月28日には待望のモドルサイズの内視鏡が新規購入され、拡大機能もついており、より診断、治療に磨きがかかることとおもいますのでどうぞ気軽に検査のオーダーをしてください。

内科部長 新見 健



宝塚第一病院 整形外科 を紹介します

宝塚第一病院の整形外科は、理事長 那須範満、部長 藤田悟、医師 富澤英明の3人体制で日々の診療を行っています。火・土の午前診と月・水・金の夕方診は大阪大学からの応援医師に手伝ってもらっています。また、第2・4土曜日の午後にはリウマチ専門外来を行っています。

手術は外傷を中心に行っています。2010年の手術件数は391件であり、年々増加しています。最も多かった手術は、大腿骨頸部骨折に対する手術であり、157件ありました。外傷以外には、膝や股関節の人工関節置換術や手の手術を行っています。外傷患者に対する基本方針は、早期手術・早期リハビリ・早期退院（社会復帰）です。入院当日あるいは翌日までの手術を目指し、高齢者では入院早期から退院に向けたカンファレンスが始まります。後方施設として、宝塚リハビリテーション病院、ケアヴィラ伊丹、ケアヴィラ宝塚がありますので、安心して手術を受けてください。



地域から信頼される整形外科を目指していますので、四肢関節の痛みや腰痛、骨折や脱臼などの外傷でお困りの方は是非受診してください。

地域から信頼される整形外科を目指していますので、四肢関節の痛みや腰痛、骨折や脱臼などの外傷でお困りの方は是非受診してください。

結核予防週間

副院長（呼吸器科部長）
森本 忠 昭

厚生労働省では、毎年9月24日～30日を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

最近、巷で話題の呼吸器感染症といえどもっぱらインフルエンザで、それと比べ、結核は目立たない存在です。しかし、半世紀以上前には国民病と言われ、沢山の感染患者がおり、有効な抗菌薬があまりなかったので死に至る恐れられた病気でした。現在、患者数は少ないですが、決して過去の病気ではなく着実に存在しています。

その理由として考えられるのは、

- (1) 空気を通して人から人に感染する病気で、接触感染ではない。
- (2) 感染しても、初期症状は微熱程度で目立たないことが多く、気になりだした頃にはある程度病気が進行している。診断がついた頃には、周辺の人に感染させている。また、症状も、咳、痰、発熱などで他の呼吸器疾患と区別がつかない。
- (3) 日本は、アメリカなどと比べて、人の密集している所が多い。

などが挙げられると思いますが、注目度が少なくなったことも大きな理由と考えられます。「結核予防週間」の機会に、正しい知識を持ち、再認識して少しでも結核感染が減少するようにしましょう。

以前の日本と異なり人々の健康状態が格段に向上しているので感染をしても発病する頻度は少なくなっています。また、有効な治療薬があるので、適切な治療を受ければ恐れる病気ではなくなっていますが、治療期間は少なくとも6～9カ月間を要します。感染しても発病するのは10%程度と考えられていますが、2～3週以上呼吸器症状が持続する時は注意して下さい。また、他に疾患（特に免疫力が低下する）を持っている人、高齢者など体力の低下している人は特に注意しましょう。

コラム THE KYOKUCHO Vol. 2

気楽に世界旅行を楽しみたい。しかし、時間と資金がない私は皆さんもご存じの「Google earth」で疑似体験を楽しんでいます。「Google earth」は「ストリートビュー」、「Wikipedia」、投稿写真の「Panoramio」、「360cities」など地球情報が満載ですが、最近、特に感動したのがチエコに本拠を置くパノラマ写真コミュニティの「360cities」です。

1例として、プラハにあるストラホフ修道院図書館の写真です。図書館の中が足元から天井を含む360度見られるようになってだけでなく280,000 x 140,000 pixelsの圧倒的なクオリティーの高い写真が楽しめます。書架最上段にある書物の背表紙も読めてしまうほどです。そして、天井のフレスコ画にいたっては肉眼では決して見えないひび割れまで識別できてしまうから驚きです。世界旅行に頻繁に出かけられる方も下調べに是非活用してみてください。

事務局長 芝

